香美市文芸

風の流れ

【短歌】

広報委員会　選

◆一般投稿作品◆

祖父の植えし杉の木立に囲まれて凛として建つ兵士の奥津城　山中　逸朗
猛暑すぎ肌寒き朝訪れて稲穂の黄色日々濃くなりて　なずな
幼児の下校姿はカワイラシ水筒回しおしゃべり雀　原　茂
さつま芋日照りにつるはのびぬまま恵みの雨を待ちて今日まで　小松　敏子
動物もかしこくなって贅沢でミニトマトまで皮は捨ておる　五百蔵利美
おまんどこぜわしゃ物部よねどんなとこ山ばっかりの広い町ぜよ　森本早智男
「こぼて」かけツグミやヌエを捕った薮今じゃ大きな森になったが　小野川裕三
梨を取る重き三脚振りまわし収穫おくれ腐りて惜しき　畠山　千江

◆高知アララギ短歌会◆

年毎にハグロ蜻蛉の吾が庭に生まれ育ちていく匹か舞ふ　森本　節子
羽衣を流したやうな薄雲が空の青さに溶け込んでゆく　中村　定子
引き出してもわが抽斗にことばなく紡ぐことばを終日さがす　吉本　悦子

◆佐々木真里短歌会◆

リハビリのベッドに仰ぐ高窓にそよぐ新緑真昼間の月　佐々木真里
戦争は愚の骨頂と言うたろう戦うも民殺されるも民　小松　當
導かれやうやくここまで来たりしを師よ何に急き逝きたまへるや　古川　安子
大雨に茅の輪支へし子らありビール片手に昔を語る　前川　竜女
集い来て友らの歌う「芭蕉布」に沖縄の重き歴史を想う　柳本　寿麻
わが裡に棲みて声なく姿なく過ぎてかひなき夫とはなりぬ　佐竹　玲子

◆韮生短歌会◆

振り返るばかりが人生ではないといつもいつもの草を引きつつ　大石　綏子
切手二枚足ししハガキに逢ひたしと卒寿の友の傾ぎたる文字　竹村　咲子
咲き誇る花の重さに耐えかねて芍薬の花土に崩れる　松中　賀代
黒雲の広ごり遠雷近づけり農具ひつさげ野道を急ぐ　公文　正子

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までにご応募ください。

【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-8501（住所記載不要）
FAX 53-5958

第20回香美・香南地区短詩型文学振興大会

短歌の部

特選　手みやげの柿の実ひとつ掌にのせて　秋の色愛づ病室の母　中村　和志
優秀　切るべきか今に至りて思ふこと　吾の生き方これからのこと　森本　百代
優秀　乳母車を抱へ階段昇りゆく　若きに息子を重ね見守る　古川　途子
佳作　戦前の富国強兵思わせる　どこへ向かうか目指す国とは　松田美津子
佳作　自由へと羽搏く魂をつなぎ止めて　地上より見る星の光を　黒瀬　信子
佳作　草の根を晒して食べし戦中派　われら絶対戦争反対　竹村　鈴子
佳作　秘めごとを耳元にそつと告げるがに　螢が柿の若葉を透かす　公文　公子
高点賞　あたたかき君の両手に包まれて　武骨な我が手もほっこりほの字　小松　紀子

俳句の部

特選　核の字の紙面を閉じる秋水忌　山岡　秀美
優秀　ビーチ痩せ八月白きされこうべ　乾　真
優秀　心太バイリンガルと啜りおり　影山　當
佳作　蝉時雨モノクロの吾は考の背に　山﨑　正子
佳作　病窓より夫の尾灯や霧の町　古川　咲子
佳作　流灯の沈みし村を流れゆく　北岡　和紀
佳作　青蚊帳を音ぬけてゆく終電車　尾﨑　津子
高点賞　寄れば飛び離れては寄る川蜻蛉　日浦　安子

広告

とさでん交通の定期券購入で
「パーク＆ライド」の駐車場代が無料！！
パーク＆ライドとは、最寄り駅まで自動車でアクセスし、駅に近接した駐車場に車を置いて、電車に乗り換えて通勤する方法です。車を使う時間が減るので環境に優しく、渋滞のイライラを感じることなくスムーズに目的地に行くことができます。
【お申込み・お問合せ】
とさでん交通株式会社
電車企画課℡088-833-7120(8:30～17:30受付/土・日祝休業) 781-8010 高知市桟橋通4丁目12番7号 [URL] http://www.tosaden.co.jp/train/pr.php



広告

JR四国の駐車場サービス
移動をもっと
クルマ×鉄道でスマートに!!
予約はWebでカンタン!
各HPから予約　予約時に決済　あとは駐車するだけ!
JR四国
設置場所：旭駅・伊野駅・佐川駅
akippa アキッパ
15分単位から利用可能!
設置場所：土佐山田駅・須崎駅などの各駅周辺
駅チカライド
1日単位で利用可能!
スマえき
詳細はこちら
シコクを、おトクに。スマえきで。
「スマえき」はいつでもどこでもきっぷが買える、JR四国のチケットアプリです。